



のびのび通信

令和5年7月15日 由木保育園



梅雨空より青空の日が増え、いよいよ夏の到来ですね。今年の七夕の日は、お天気が良かったので、織姫と彦星は天の川を渡って会うことができたのではないのでしょうか。園には、お願い事を書いたたくさんの短冊が揺れていました。「〇〇マンになれますように…」「〇〇ができるようになりますように…」「おやさいがたべられますように…」など、とても素敵なお願い事に心が温かくなります。お願い事を考える時は、自然ととても前向きな気持ちになれますね。今年もみなさんのお願い事が叶いますように…

フレイフレイこそだて!

『おかたづけ』

夏休みも近づき、お外は暑くてお家の中で遊ぶ機会が増えますよね。子どもたちは、毎日、おもちゃや絵本など、出したら出しっぱなし…「いつになったら、一人で片付けられるようになるの!？」と、頭を悩ませているおうちの方は多いのではないのでしょうか。そこで今回は、子どもたちにお片付けの習慣が身につくヒントをご紹介します。

●お片付けてなあに?子どもにわかりやすく伝えよう!

片付けは、モノを隠して見えなくする事ではなく、モノを決まった収納場所にしまうこと。「〇〇ちゃんも、毎日お家に帰ってくるでしょう。おもちゃにもお家があるから毎日戻してあげようね。」とお子さんにわかりやすく伝えてあげると良いと思います。

●どうしてお片付けられないの?お片付けができない理由は?

実は、その収納ボックスや場所があってないのかも…遊んでいる場所から無理なく片付けることができる距離・場所・仕組みづくりをお子さんと相談して決めてみるのも良いかもしれませんね。

●お片付けは何歳からできるの?

お片付けは、3歳位からできるそうです。「おもちゃのお家に戻そうね。」「キレイになって気持ちいいね。」とお家の方がやっているのを見ると、子どもも見て真似ていくそうですよ。『自分で選んで片付ける』は、自分はどんなモノを持っていて、いる?いない?を考える《モノの管理のベース》になります。お子さんが選んだモノを尊重して見守ることも、お片付けの習慣にはとても大切なことなのですね。

